

合同教育研究会議（3月9日開催）議事概要

1 開催日時

令和5年3月9日 13時00分～14時10分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長兼教学IRセンター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、長坂生活科学科長、伊藤国際文化学科長、松田宮古短期大学部長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長※Web参加）

[事務局]

新沼事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、藤村研究・地域連携室長、北島企画室長、瀧澤宮古事務局長、八木主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議2月22日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

- (1) 岩手県立大学学則の一部を改正する学則案について
- (2) 岩手県立大学履修規程の一部を改正する規程案について
猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり了承された。
- (3) 岩手県立大学大学院学則の一部を改正する学則案について
- (4) 岩手県立大学社会福祉学研究科履修規程等の一部を改正する規程案について
猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり了承された。
- (5) 岩手県立大学盛岡短期大学部学則の一部を改正する学則案について
- (6) 岩手県立大学盛岡短期大学部履修規程の一部を改正する規程案について
猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。
審議の結果、原案のとおり了承された。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

（１） 令和５年度以降の GPS-Academic の実施について

石堂教学 I R センター長から、資料に基づき説明があった。

短期大学部生を対象としないのはなぜかとの委員からの質問に対し、石堂教学 I R センター長から、短期大学部生の学修成果の測定にはこれまで継続して実施している P R O G テストの内容が適していることから、GPS-Academic ではなく P R O G テストを引き続き利用するとの回答があった。

（２） 学内情報システム及びコミュニケーションツール等の教育利用のガイドライン【教員向け】の制定について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。９月 14 日開催の合同教育研究会議において示した原案に、各学部等から寄せられた意見を反映させたものである旨の補足説明があった。

委員から、このガイドラインについての説明会実施の有無について質問があり、猪股教育支援本部長から、現段階では説明会を開催する予定はないとの回答があった。これに対し、委員から、私物の機器の教育利用や悪用防止のために、F D として取り組んでいく必要があるとの発言があった。

委員から、このガイドラインは教職員の品位を維持・向上させる良い取組であるだけでなく、学生にとっても必須な内容であることから、教養として学生が自然に身に着けられるように取組を進めてほしいとの発言があった。

（３） 令和４年度学位記授与式におけるマスクの取扱いについて（報告）

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。関屋教育支援室長から、他大学の学位記授与式についての新聞記事にマスクを着用していない写真が掲載されていたが、当該大学は学生数が少ない単科大学であり、学位記授与式に出席する学生に問診票を提出させるなど、本学とは状況が異なることから、本学でのマスク着用を理解をいただきたいとの補足説明があった。

（４） 令和４年度岩手県立大学の就職内定状況（２月末現在）について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。内定者に対する県内内定者の割合が昨年度と比べて大きく下がっているが、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてきたことや、県外の一般企業の採用活動が早期化し、且つ募集が増えていることが要因であるとの補足説明があった。

（５） 2022 年度 APRIN e ラーニングの履修状況について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

（６） 令和５年度からの本学における安全保障輸出管理体制について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。普段は意識していない部分が輸出管理の対象に該当する場合もあるので、各自セルフチェックを行う必要があるとの補足説明があった。

学長から、直接的ではなく間接的に輸出管理に関係する場合があります、すぐに判断することが難しいため、学生に対するチェックシート、教員に対するチェックシー

ト、研究室に対するチェックシート、大学全体に対するチェックシートなどを整備し、随時チェックシートを使用して確認できるよう準備する必要があるとの発言があった。

(7) 北いわて・三陸地域活性化推進研究費交付要領の改正及び令和5年度研究の公募について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(8) いわて高等教育地域連携プラットフォームについて

石堂副学長から、資料に基づき説明があった。

(9) タグラインの選定方法について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

広報方針等検討ワーキンググループメンバーをタグライン選定委員会の意見参考人とするところになっているが、当該ワーキンググループの活動は今年度末までとなっていることから、令和5年度に新たに設置される広報委員会の委員を意見参考人する必要があるのではないかとの委員からの質問に対し、橋本企画本部長から、タグライン選定委員会は年度内に開催することから、当該ワーキンググループメンバーを意見参考人とするものであるとの回答があった。

(10) 各種学生アンケート自由記述意見への対応状況について

(11) 令和5年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の実施について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。令和5年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の内容については、現在も調整中である旨、補足説明があった。

(12) 教育研究に関する重要な事項で、学長が決定を行うに当たり教授会等の意見を聴くことが必要なものとして定めるものの一部改正について

新沼事務局次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。本来、公立大学法人岩手県立大学中期計画策定委員会規程の制定に併せて改正すべき内容であったが、改正漏れとなっていたものである旨の補足説明があった。

(13) 令和5年4月以降の部局長等の予定者について

石堂副学長から、資料に基づき説明があった。宮野副学長兼事務局長から、考え方について補足説明があった。

報告事項（資料報告）

(1) まちのフィールドワークの実施結果について

(2) 令和4年度全学FD・SDプログラム第2回高等教育セミナー開催結果について

(3) 令和5年度新学期行事日程について

(4) 令和4年度第4回学務調整会議の開催概要について

(5) 令和4年度学び合い文化事業（LA企画）イベント開催結果について

(6) 大学院入試（第2次募集）選抜結果について

(7) 令和4年度第3回学生支援委員会の開催結果について（報告）

(8) 令和4年度第3回就職支援連絡調整会議の開催結果について

(9) 名誉教授の称号の授与について

(10) 「令和4年度第11回職員衛生委員会」の結果について

新沼事務局次長兼総務室長から、(9)について、受称者の紹介があった。学長から、名誉教授称号授与証書に記載する氏名について、戸籍上の氏名とするのか通称の氏名とするかを改めて確認するよう発言があった。

その他

- ・ 新沼事務局次長兼総務室長から、本学卒業生の小山怜央さんの棋士編入試験合格を祝う横断幕を共通講義棟に設置したことについて紹介があった。
- ・ 北島企画室長から、来年度の教育研究会議の日程が確定したことから日程表を机上配付していること、また、今年度最後の会議は3月22日（水）に開催する旨、連絡があった。